




埋立部	栈橋部
接続部	連誘部
環境	その他
工種名:揚土工	

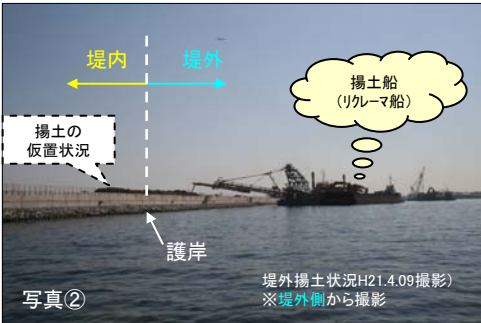


写真①

出展: 羽田D滑走路JV (H21.3.15撮影)

現在、埋立部では管中混合固化処理土の施工が約半分程度まで進み、陸上部分が多く見られるようになってきました（写真①参照）。これからの埋立部の施工は『揚土』といわれる工種がメインとなり、埋立作業が本格化していきます。

 管中混合については[コチラ](#)をクリック



写真②

堤外揚土状況H21.4.09撮影)
※堤外側から撮影

揚土については、護岸の内側から山砂等を投入する「堤内揚土」と護岸の外側から投入する「堤外揚土」があります。（写真①参照）

■堤外側からの揚土方法

護岸の外側から揚土船（リクレーマ船）を使用して山砂等を堤内側の陸上部分に仮置きします（写真②、③参照）。次に仮置場所から揚土先までダンプトラック等で運搬し（写真⑤参照）、運搬後、ブルドーザ等により所定の厚さまで敷き均しを行い（写真⑥参照）、最後に振動ローラ等で転圧を行います。

■堤内側からの揚土方法

護岸の内側から揚土船（リクレーマ船）を使用して山砂等を直接投入します。（写真④参照）



写真③

堤外揚土状況H21.4.09撮影)
※堤内側から撮影



←ダンンプトラック46t積

☆写真では分かりづらいですが、タイヤの高さは“大人の背丈”程あります。



写真④

堤内揚土状況
(出展: 羽田D滑走路JV) (H21.3月)
※堤内側から撮影



写真⑤ 埋立材運搬状況 (H21.4.09撮影)



写真⑥ 敷き均し状況 (H21.4.09撮影)